

---

---

# みらいのジブンの設計図 〈スタート編〉

---

---

## Tips for Teachers

『みらいのジブンの設計図』は高等学校や中等教育学校（後期課程）などで展開されるキャリア教育のために開発・制作された教材で、本書はそれを活用する先生のための Tips（サポートガイド、教師用マニュアル）です。『みらいのジブンの設計図』のポイントは次のとおりです。

- ①生徒が自分の未来・将来のことを主体的に考え、型にはまったキャリア教育にならないように配慮しています。
- ②「もっともらしい答え」を求めず、進路に関して多様なルートがあることを示し、自分の進路を探究しようとする意欲・態度の形成を促します。
- ③自学自習であっても生徒が最後まで飽きずに取り組むことができるよう、紙面構成ではイラストや色使いなどビジュアル面を工夫しています。

できること・やるべきことを整理する「スタート編」は主に高校1年生での使用を、未来に向けて具体的な準備を進める「ジャンプ編」は主に高校2～3年生での使用を想定しています。ただし、生徒の発達段階に合わせて使用時期を柔軟に変えてお使いください。なお、「スタート編」→「ジャンプ編」のように段階的に活用することで、より充実したキャリア教育につながると考えています。

### <基本的な使い方>

先生自身が生徒と一緒に取り組むような感覚で展開することを想定していますが、生徒に自習させても必要な情報はまとめられています。なお、1テーマあたり約1時間での授業展開を想定しています。

**基本コース** ようこそ、プロローグ、エピローグは生徒に自宅などで自習させ、テーマ1～5を授業として展開し、5時間分の授業として実践する。

**活用コース** プロローグ（「ようこそ」も含めて実施）、テーマ1～5、エピローグそれぞれを授業で展開し、7時間分の授業として実践する。

**自習コース** 夏休みなどを利用し、生徒のペースですべて自習によって行う。

上記の3つのコースを想定していますが、1時間で終わらなければ残りを自習させたり、いくつかのテーマを自習させたりするなど自由に活用できます。授業で展開する場合は、生徒が書き込んだことや考えたことをクラス内で共有すること（Tipsでは**SHARE**で表示）を主な活動とし、生徒自身の力で未来や将来を考えていくことを大切にしています。さらに、よりワークを展開することができるように、本書にはテーマごとに7種類のワークシートを用意しましたので、必要に応じてご利用ください。本体と同じワークを再録したものについては、**[本体と同じワーク]**のように表記しています。

### 『みらいのジブンの設計図 〈スタート編〉』へようこそ

i ページは、本書で取り組むことに関する導入となります。ii ページには、今の自分の気持ちを確認するワークを設けています。導入にあたる部分なので、気楽に取り組めるように工夫しています。4つめのワークに示した6種類の感情は基本感情とよばれ、文化を越えて共通に表出される感情とされているものです。左から順に、幸福・驚き・恐れ・悲しみ・怒り・嫌悪を表しています。

#### [授業展開の Tips]

生徒が考えたことを発表させて、いろいろな気持ちがあることをクラス内で共有**SHARE**するとよいでしょう。6つの顔では、あてはまるものに手を挙げさせてクラス内の割合を確認する展開があってもよいかもしれません。また、最後のエピローグにまったく同じワークを用意しています。すべて記入させておくと、取り組む前と取り組んだ後での進路に対する意識の変化を比較できます。

## プロローグ 未来の可能性

### 【ねらい】

プロローグでは、誰にでも無限の可能性があることを示すのが大きなねらいです。自己肯定感や自尊感情が低くなっていたり、未来に対して明るい展望がもてなかったりする生徒をフォローする意味で、いろいろな未来の可能性を示しています。特に、「挫折や失敗を乗り越える可能性」と「自分のことを応援してもらえる可能性」というインタビューでは、可能性が机上の空論ではないことを伝えたいと考えています。

### 【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 インターネットが利用できる環境（パソコン、スマートフォンなど）

### 【授業展開の Tips】

<p><b>＊未来の可能性をチェック（1 ページ）</b></p> <p>Yes-No チャートが終わった段階で、どのタイプになったのか手を挙げさせ、A～Fのタイプの割合がどのようになっているのかをクラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。なお、どのタイプになったとしても、タイプに優劣がないことを伝えてください。</p>
<p><b>＊未来の可能性のタイプ（2 ページ）</b></p> <p>さまざまな可能性をチェックするためにも、すべてのタイプの説明を読んで「なりたい度」の順位をつけるように指示してください。Yes-No チャートはあくまで参考程度ですので、各タイプの説明を読んで自分自身がどのタイプにあてはまるかを選ぶほうが生徒は納得しやすいかもしれません。</p>
<p><b>＊高校時代にやっておけばよかった、やっておいてよかったこと（3 ページ）</b></p> <p>紹介しているのは、実際にアンケートを行って得られた生の声です。すべてに目を通すように指示してください。また、先生自身が考える「高校時代にやっておけばよかった、やっておいてよかったこと」を、生徒にぜひ語ってください。</p>
<p><b>＊未来の可能性について考えよう（4 ページ）</b></p> <p>有名人2名のエピソードを紹介しています。先生自身が知っているエピソードがあれば、それも生徒に伝えてください。インターネット環境があれば、スキヤットマン・ジョンが歌っている動画などを流し、スキヤットの雰囲気を生徒に伝えられるとさらによいでしょう。リオネル・メッシが受賞したFIFA バロンドールの「バロンドール」とは、フランス語で「黄金の球」を意味するものです。</p>
<p><b>＊挫折や失敗を乗り越える可能性（5～6 ページ）</b></p> <p>身近な人を取りあげて、「挫折や失敗を乗り越える可能性」を紹介しています。インタビュー記事を読んだ感想などを発表させてクラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。6 ページの「考えてみよう！」は授業時間によって調整してください。ただし、記入欄は設けていませんので、別のノートや余白、あるいは右のワークシートを使用してください。</p>
<p><b>＊自分のことを応援してもらえる可能性（7～8 ページ）</b></p> <p>身近な人を取りあげて、「自分のことを応援してもらえる可能性」を紹介しています。8 ページの「考えてみよう！」も含め、展開の仕方は5～6 ページと同じです。</p>

【ワークシート】 プロローグ全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

### 【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 取りあげた4人の人物について、どのような生活や環境で人間関係を構築してきたのかをくみ取ることができたか。
- 自己理解・自己管理能力 Yes-No チャートおよび可能性のタイプで、自分のおかれている立場を肯定的に理解することができたか。
- 課題対応能力 6 ページと8 ページにある「考えてみよう！」について、自分から積極的に考えて取り組むことができたか。
- キャリアプランニング能力 取りあげた4人の人物についての情報を活用しながら、自分の将来のことを具体的な目標を含めて考えることができたか。

## プロローグ 未来の可能性

### ※未来の可能性のタイプ

2 ページでなりたい度1位にしたタイプに✓印をつけ、その理由も書いてみましょう。

なりたい度 1位	<input type="checkbox"/> 無重力	<input type="checkbox"/> 大変身	<input type="checkbox"/> ハイジャンプ
	<input type="checkbox"/> 大脱走	<input type="checkbox"/> 雪だるま	<input type="checkbox"/> まっしぐら
理由			

### ※未来の可能性について考えよう

4 ページの2つのエピソードを読み、好きなほうのエピソードを選んで✓印をつけ、読んだ感想を書いてみましょう。

選んだエピソード       スキャットマン・ジョン       リオネル・メッシ

--

### ※挫折や失敗を乗り越える可能性 [本体と同じワーク]

6 ページの「考えてみよう！」の1・4に取り組みましょう。また、2・3・5も考えてみましょう。

1. 苦手なことや嫌いなことを書き出してみる

--

4. これまでに「うまくいかなかった」と思うことを書き出してみる

--

### ※自分のことを応援してもらえる可能性 [本体と同じワーク]

8 ページの「考えてみよう！」の1・3に取り組みましょう。また、2・4も考えてみましょう。

1. 自分がやってみたいことを書き出してみる

--

3. 自分に期待されていることを書き出してみる

--

## テーマ1 学校に通うということ

### 【ねらい】

テーマ1では、学校に通うということの意味をあらためて問い直すのが大きなねらいです。学ぶことを肯定的にとらえる一方で、行きたくないと思っている理由を掘り下げていくことにより、行きたくない理由のなかにも学びがあることを紹介し、学校生活の大切さを理解してもらおうとしています。また、学校に対していろいろな思いをもつ人のインタビュー記事や学校で学んだことを読むことで、自身の学校に対する思いを深めてもらいたいと考えています。

【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 特になし

### 【授業展開の Tips】

<p>✳️学校充実度診断（9 ページ）</p> <p>得点表を用いて各質問項目の点数分の斜線をつければ点数がわかるようになっています。学校充実度の点数が低い生徒がいた場合は、ふだんの生活の様子に特に目を配るようにしましょう。</p>
<p>✳️学校に行きたい理由（10 ページ）</p> <p>行きたい理由については、否定的な表現（例：「〇〇がないから」など）をなるべく使わないで書かせるとよいでしょう。「私の主張」については、何名かに発表させてクラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️学校に行きたくない理由（11 ページ）</p> <p>ミラクル・クエスチョンは、問題が解決した後の状態をイメージさせることを目的とした、短期療法（ブリーフセラピー）という心理技法の一種です。解決した状態をイメージさせて、問題を抱えている状態が変化しないわけではないことに気づかせ、考え方を柔軟にする目的で行われる技法です。</p>
<p>✳️行きたくない理由にひそむ学び（12 ページ）</p> <p>ここで紹介したものの以外で学びがひそんでいることについても考えを広げるように促すとよいでしょう。知らず知らずのうちに学んでいることが多くあることにも目を向けさせてください。</p>
<p>✳️勉強以外で身につけている力（13 ページ）</p> <p>授業以外の活動に目を向けさせることで、学校生活が多面的であり、多くの場面でいろいろな力が身につけているということを実感させましょう。自分で考えて記入する欄を2個設けてあります。記入したものを発表させてクラス内で共有 <b>SHARE</b> し、いろいろな考えにふれさせるとよいでしょう。</p>
<p>✳️高校を辞めるかどうか迷った人にとっての学校（14 ページ）</p> <p>✳️高校を「3回」辞めた人にとっての学校（15 ページ）</p> <p>ざっと読むだけで終わりにならないように、気になった文章に下線を引かせたり、読んだ感想を別のノートや右のワークシートなどに書かせたりしてもよいでしょう。</p>
<p>✳️人それぞれの学校で学んだこと（16 ページ）</p> <p>高校で学んだことについて、6名の考えを紹介しています。ざっと読むだけで終わりにならないように、「なるほど度」にチェックするように指示してください。</p>

【ワークシート】 テーマ1全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 14～15 ページでとりあげた2人のインタビューについて、それぞれの考えや立場などを理解しようとしたか。
- 自己理解・自己管理能力 学校に行きたくない理由があつたとしても、前向きにとらえ直すことができ、学校に通う理由を肯定的に考えることができたか。
- 課題対応能力 11 ページのミラクル・クエスチョンのワークにおいて、発想を転換し、課題のポイントをつかんでうまく考えをまとめることができたか。
- キャリアプランニング能力 テーマ1全体を通して、学ぶことの意義について考え、学校に通うことの意味を再確認することができたか。

## テーマ1 学校に通うということ

### ＊学校に行きたい理由

10 ページのワークに取り組み、「学校に行きたい理由」の第1位を下記にも書き写しましょう。そして、なぜ第1位にしたのかという理由を書いてみましょう。

第1位	
理由	

### ＊学校に行きたくない理由

11 ページのワークに取り組み、「学校に行きたくない理由」の第1位を下記にも書き写しましょう。そして、なぜ第1位にしたのかという理由を書いてみましょう。

第1位	
理由	

### ＊高校を辞めるかどうか迷った人にとっての学校

14 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。

--

### ＊高校を「3回」辞めた人にとっての学校

15 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。

--

### ＊人それぞれの学校で学んだこと

16 ページの6人のコメントを読んで、気になったキーワードや文章を書き出してみましょう。

--

## テーマ2 働くということ

### 【ねらい】

テーマ2では、何のために働くのかについて考えを深めていくことが大きなねらいです。働くことによって得られるのは「お金」だけではなく、いろいろなものが得られるということを紹介します。テーマ2では、そのカテゴリーを「安心」「自由」「夢中」「貢献」「出会い」という5つに分けて考えていきます。また、3名の方のインタビューおよび20～50代までの各年代の「働くことで得たもの・得たいもの」を読むことで、働くことの意味は多様で、さらに変化していくものであることを伝えていきます。

【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 特になし

### 【授業展開の Tips】

<p>✳️今の自分が思う働くことで得たいもの（17 ページ）</p> <p>✓印をつけるのは全部で10個に制限しているので、全体にざっと目を通させてから10個を選ばせるようにするとよいでしょう。10個を選ばせたあと、カテゴリーごとの✓印の数をもとにして、5つのカテゴリーの順位づけをします。1位にしたカテゴリーに手を挙げさせたりして、どのカテゴリーの順位が高いのかなどをクラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️高校生・大学生が思う働くことで得たいもの（18 ページ）</p> <p>同年代の人たちがどのようなことを考えているのかについて紹介しています。それぞれについて、納得や共感できた場合には✓印をつけながら読み進めるように指示してください。どのカテゴリーに✓印が多かったかなどを確認させてもよいでしょう。</p> <p>19～23 ページのインタビューは、ざっと読むだけで終わりにならないように、気になった文章に下線を引かせたり、読んだ感想を別のノートや右のワークシートなどに書かせたりしてもよいでしょう。</p>
<p>✳️なぜ働くのか①——詩人という働き方（19 ページ）</p> <p>長谷川さんの詩を紹介してもよいでしょう。なお、長谷川さんが受賞した高見順賞は優れた詩人に贈られるもの、藤村記念歷程賞は島崎藤村を記念して創設された文学賞です。</p>
<p>✳️なぜ働くのか②——子どもをもつ女性としての働き方（20～21 ページ）</p> <p>岩岡さんが合格した大学入学資格検定は2005年度から高等学校卒業程度認定試験（高認）に移行しており、合格すると大学・短期大学・専門学校の受験資格を得ることができます。</p>
<p>✳️なぜ働くのか③——家族・社会・自分のためという働き方（22～23 ページ）</p> <p>兼元さんが創業したOKWaveというサービスの名称は、「Oshiete（教えて）」と「Kotaeru（答える）」を仲介して人々の悩みや疑問をOKの状態にし、それを「Wave（波）」のように世界に広げていくというのが由来になっているそうです。</p>
<p>✳️聞いてみよう「働くことで得ているもの」（24 ページ）</p> <p>「考えてみよう！」で考えたオリジナルの質問を発表させるなどしてクラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。また、何らかのテーマを設けて、クラス内でインタビューし合うというようなワークを行うと、実際のインタビューでも役立つでしょう。</p>

【ワークシート】 テーマ2全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 19～23 ページでとりあげた3人が、人間関係をどのように形成し、社会にどのように参画していったのかを読み取ることができたか。
- 自己理解・自己管理能力 働くことで得たいものについて、5つのカテゴリーをもとにして自分自身の考えをまとめることができたか。
- 課題対応能力 24 ページの「考えてみよう！」に関して、インタビューのためのオリジナルの質問を積極的に書き出すことができたか。
- キャリアプランニング能力 テーマ2全体を通して、働くことの意義について考え、働くことが自分自身に関係するものであるという意識をもって積極的に取り組むことができたか。

## テーマ2 働くということ

### ※今の自分が思う働くことで得たいもの／高校生・大学生が思う働くことで得たいもの

17 ページと 18 ページの「働くことで得たいもの」を読み、「これは得たい」と思うものの上位 3 つを書き出してみましょう。あてはまるものがなければ、自由に書いてください。

第 1 位	
第 2 位	
第 3 位	

### ※なぜ働くのか①——詩人という働き方

19 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

### ※なぜ働くのか②——子どもをもつ女性としての働き方

20～21 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

### ※なぜ働くのか③——家族・社会・自分のためという働き方

22～23 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

### ※聞いてみよう「働くことで得ているもの」 [本体と同じワーク]

24 ページの「考えてみよう！」の 3 番目の質問づくりに取り組み、下記にも書いてみましょう。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

## テーマ3 自分はどんな人？

### 【ねらい】

テーマ3では、自己理解を深めることがねらいです。また、適性について考えていくこともねらいとしています。2名の方に高校時代のことを語ってもらうとともに、その人たちが現在どのような仕事をしているのかを紹介します。それに続いて、性格・興味・能力という3つの視点から自己理解をしていきます。性格は「ビッグファイブ」、興味は「RIASEC」、能力は「多重知能」という立場を紹介します。また、自己理解を深めるため「ジョハリの窓」についても解説します。

【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 特になし

### 【授業展開の Tips】

<p>✳この人は何をしています？ (25 ページ)</p> <p>高校時代の様子を語ったインタビューから、現在どのような仕事をしているのかを予想させましょう。予想を発表させて、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳この人はこんなことをしています① (26 ページ)</p> <p>✳この人はこんなことをしています② (27 ページ)</p> <p>ざっと読むだけで終わりにならないように、気になった文章に下線を引かせたり、読んだ感想を別のノートや右のワークシートなどに書かせたりしてもよいでしょう。</p>
<p>✳自分はどんな性格？ (28 ページ)</p> <p>本文でもふれていますが、各特性には「高いほうがよい」「低いほうがよい」といった望ましさや価値が含まれていないことを、あらためて伝えてください。なお、パーソナリティの語源は、「仮面」を意味するベルソナであるといわれています。</p>
<p>✳自分はどんなことに興味がありそう？ (29 ページ)</p> <p>✓印をつける個数が少なくなりすぎないように、最低でも8個の✓印をつけさせるようにしています。全部が高ければよいというわけではありません。高いものと低いものが分かれているほうが、進路の方向性を絞りやすいかもしれません。</p>
<p>✳自分はどんな能力が高そう？ (30 ページ)</p> <p>現在の能力についての自己理解と、願望としての能力のバランスというワークは、31 ページの「考えてみよう！」で紹介する「現実の自分」と「理想の自分」という考え方に繋がります。</p>
<p>✳自分自身の見つけ方 (31 ページ)</p> <p>ジョハリの窓という名前は、「対人関係における気づきのグラフモデル」を提案したジョセフ・ルフトとハリー・インガムという研究者の名前からとられたものです。狭くするコツについては具体的な方法などを発表させて、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳意志と努力で適性は広がる (32 ページ)</p> <p>二人の人生を読み解きながら、適性が変化していったり、努力などで適性が広がっていったりするということにも気づかせたいです。</p>

【ワークシート】 テーマ3全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 テーマ3でとりあげた相澤歩さんと鮫島弘子さんについて、それぞれの考えや立場などを理解しようとしたか。
- 自己理解・自己管理能力 性格・興味・能力という3つの視点に基づく自己理解のワークについて積極的に取り組み、自分自身を肯定的に理解しようとしたか。
- 課題対応能力 性格・興味・能力という3つの視点に基づく自己理解のワークを使って自己分析を行い、適性について理解を深めることができたか。
- キャリアプランニング能力 テーマ3でとりあげた相澤歩さんと鮫島弘子さんのインタビュー、性格・興味・能力という3つの視点からの自己理解を通して、自らの将来を見通すことができたか。

### テーマ3 自分はどんな人？

**＊この人は何をしていますか？**

25 ページのインタビューを読み、相澤さんと鮫島さんの現在の仕事を予想して書いてみましょう。

相澤さん	
鮫島さん	

**＊この人はこんなことをしています①**

26 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。


**＊この人はこんなことをしています②**

27 ページのインタビューを読んだ感想を書いてみましょう。


**＊自分自身の見つけ方**

28～30 ページで行った性格・興味・能力という視点による自己理解を参考にしながら、31 ページの「考えてみよう！」に取り組み、①現実の自分、②理想の自分、③義務の自分、を書いてみましょう。

① 現実の自分	
② 理想の自分	
③ 義務の自分	

## テーマ4 高校での学びは将来に役立つのか

### 【ねらい】

テーマ4では、高校での学び（特に教科の学び）が将来に役立つかどうかを考えていくのが大きなねらいです。なかなか実感することは難しいものですが、あるシチュエーションから役立つ教科を考えたり、その逆に教科で学んでいることから役立つ状況を考えたりして、どの教科の学びもおそろかにはできないということを理解してもらいたいと考えています。進学や就職という枠にとらわれずに役立つ場面を考えるようにするとよいかもしれません。

【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 インターネットが利用できる環境（パソコン、スマートフォンなど）

### 【授業展開の Tips】

<p><b>＊もしも学ぶ教科を削ることになったら（33 ページ）</b> 各教科について、必要派の意見と不要派の意見を読んで、自分自身の考えを判断させるようにしましょう。先生ご自身の担当教科については、独自の意見をぜひ加えてください。また、時間にゆとりがあれば、必要派と不要派に分かれてディベート（討論）を行ってもよいでしょう。</p>
<p><b>＊教科が役立つシチュエーション（34～35 ページ）</b> それぞれのシチュエーションは、順番どおりにやる必要はありません。取り組む時間を設定したり、全員で取り組むシチュエーションを決めたりしたほうが、時間の調整はしやすいかもしれません。書いたものを発表させて、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p><b>＊働いている人が役立つと考えている教科（36～37 ページ）</b> 34～35 ページで取り組んだワークについて、実際に働いている人が答えたことを紹介しています。正解ではなく、いくつもある考え方の1つですが、生徒自身の考えと比較しながら読ませるようにしてください。また、37 ページの「考えてみよう！」は、インターネットが利用できる場合は、キーワードの組合せで実際に検索させ、クラス内で検索結果を共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p><b>＊教科で学んだことは社会でどのように役立つのか（38 ページ）</b> 34～37 ページとは逆に、38 ページでは教科から役立つシチュエーションを確認するという方向で考えていきます。ここで紹介するのはあくまでも一例ですが、いろいろなシチュエーションを提示することにより、多様な場面で役立つというイメージをもたせることを目的としています。</p>
<p><b>＊暮らしのなかに溶け込んでいる教科を探そう（39 ページ）</b> 日常生活に溶け込んでいる教科を、イラストのなかから探し出すというワークです。上部のイラストの例は、「海外旅行に行くなら『外国語』が必要」ということを意味しています。この例と同じようにして、溶け込んでいる教科を探し出すように指示してください。</p>
<p><b>＊暮らしのなかに溶け込んでいる教科——答えの一例（40 ページ）</b> 39 ページのワークについて、答えの一例を紹介しています。40 ページに示したものの以外にもいろいろな考えがあるのは当然です。考えたものを発表させて、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。ユニークな意見などが出やすい雰囲気をつくりましょう。</p>

【ワークシート】 テーマ4 全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 36～37 ページで示した社会人の考えについて、自分の考えと照らし合わせながら読み、将来の生活や社会で学びが役立つ場面があるということを理解できたか。
- 自己理解・自己管理能力 各教科の学びについて、「やりたい・やりたくない」ではなく、「必要・不要」という観点からとらえ、自分の生活にも教科から派生した知恵などが含まれていることを理解できたか。
- 課題対応能力 37 ページの「考えてみよう！」について、組み合わせることができるものを自分なりに書き出したり、インターネットなどで実際に検索したりすることができたか。
- キャリアプランニング能力 テーマ4 全体を通して、学ぶことの意義について考え、各教科が将来に役立つということを見通すことができたか。

### テーマ4 高校での学びは将来に役立つのか

#### ＊もしも学ぶ教科を削ることになったら

33 ページの必要派と不要派の意見を読み、自分が最も納得した教科をそれぞれ書き出してみましよう。

必要派の意見で最も納得した教科	不要派の意見で最も納得した教科

#### ＊働いている人が役立つと考えている教科 [本体と同じワーク]

37 ページの「考えてみよう！」に取り組み、好きなこと・興味のあることに、教科を組み合わせることができるものを2つ考え、下記にも書いてみましょう。

①好き・興味	×	①教科名
=	①組み合わせることができるもの	

②好き・興味	×	②教科名
=	②組み合わせることができるもの	

#### ＊教科で学んだことは社会でどのように役立つのか

38 ページの「教科で学ぶこと」と「社会に出てから役立てられることの一例」を参考にしながら、これからより力を入れていきたいと思った教科を書き出し、その理由を書いてみましょう。

教 科	
理 由	

#### ＊暮らしのなかに溶け込んでいる教科——答えの一例

40 ページを参考にしながら、暮らしのなかに溶け込んでいる教科を自分の身のまわりの暮らしから探し出し、その教科がどのように役立っているのかについても書いてみましょう。

教 科	
どのように 役立って いるのか	

## テーマ5 高校を卒業したら

### 【ねらい】

高校卒業後の進路について、進学・就職を中心におおまかな流れを理解し、自分の未来をイメージすることを大きなねらいとしています。進学か就職かという高校卒業後の単純な二択を考えるのではなく、進学後、あるいは就職後までイメージを広げられるようにしたいと考えています。なお、進学に際してネックとなる経済的な問題については、学費のところにていねいに紹介します。最後は型にはまらずに自由に自分の人生を設計したらどうなるかというワークを行います。

【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 特になし

### 【授業展開の Tips】

<p>✳️高校卒業後の道（41 ページ）</p> <p>必ずしもいずれかの達人になるわけではなく、2つの達人を兼ねたり、別の達人に変わったりもしますが、高校を卒業してからの自分の姿をおおまかにイメージさせることが目的です。次のページで各達人の内容を紹介するので、いずれかの達人に進むように指示してください。各達人の割合がクラス内でどのようになっているのかを共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️それぞれの進路を比べてみよう（42 ページ）</p> <p>自分が選んだ達人以外の解説も読むように指示してください。なお、「考えてみよう！」には記入欄を設けていませんので、別のノートや余白などを使用してください。</p>
<p>✳️学ぶ意味の発見（43 ページ）</p> <p>高校卒業後すぐに進学しなくても学校で学ぶチャンスがあることを知ってもらうために紹介しています。読んだ感想を発表させて、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️高校を卒業したら入れる学校——進学あれこれ（44～45 ページ）</p> <p>高校卒業後に進学する場合の情報をまとめています。進路選択は多岐にわたりますが、最低限必要となる情報をまとめてありますので、すべてに目を通すように指示してください。</p>
<p>✳️進学にかかる費用を考えよう（46 ページ）</p> <p>進学に関連するお金の問題をまとめたページです。進学にかかる高額な費用を確認するのは大切ですが、その一方で、経済的な問題を解決する方法があることを紹介しておく必要もあるでしょう。</p>
<p>✳️社会に出てからの働き方——就職あれこれ（47 ページ）</p> <p>就職活動のスケジュールは、高校卒業直後に就職する場合の基本的な流れです。いずれは就職することになる人がほとんどだと思いますので、進学を考えている生徒にも真剣に考えるように促してください。各視点は、ジャンプ編のテーマ2とリンクしています。</p>
<p>✳️未来を自由にイメージする（48 ページ）</p> <p>起伏があるのが人生です。絶好調あるいは絶不調ばかりにならないように指示してください。絶不調や谷があっても、いずれ上昇や回復をするということをイメージさせるとよいでしょう。また、イベントが思いつかない生徒には、17 ページの働くことで得られそうなものが参考になるでしょう。</p>

【ワークシート】 テーマ5 全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 42 ページの各達人のプラスの面とマイナスの面を読み取り、自分の果たすべき役割などを考えることができたか。
- 自己理解・自己管理能力 進学と就職の両方に関する進路について、学費なども含めて総合的に自分の可能性を検討することができたか。
- 課題対応能力 48 ページのワークについて、イベントを工夫したり、アップダウンをうまく考えたりするなど課題の内容をしっかりと把握して取り組むことができたか。
- キャリアプランニング能力 48 ページのワークについて、自分の未来を先まで見通して考えたり、多くのイベントに伴って好調度にアップダウンがあることを理解したりすることができたか。

## テーマ5 高校を卒業したら

### ※高校卒業後の道 [本体と同じワーク]

41 ページのワークに取り組み、最終的にたどり着いた達人に✓印をつけましょう。自分で考えた達人があれば、「○○の達人」の右の欄に書きましょう。

- 学び     極め     変身     ぷらぷら     再挑戦     家庭  
 ○○の達人

--

### ※それぞれの進路を比べてみよう

上で✓印をつけた達人について、42 ページを参考にしながら、自分なりにプラスの面とマイナスの面を考えて書いてみましょう。

プラス の面	
マイナス の面	

### ※社会に出てからの働き方——就職あれこれ

47 ページで就職の準備として4つの視点をあげましたが、高校や上級学校を卒業してから就職し、仕事をしていくことに対してどれくらい自信がありますか。あてはまるものに✓印をつけてください。

- 自信がある     やや自信がある     あまり自信がない     自信がない

就職して初めて受け取った給料（初任給）のうち、3万円を自由に使えるとします。そのお金で何をしたいかを考えて書いてみましょう。

--

### ※未来を自由にイメージする

48 ページのワークに取り組みましょう。そのうえで、絶好調のイベントと絶不調のイベントをそれぞれ2つずつ書き出してみましょう。

絶好調の イベント1	
絶好調の イベント2	
絶不調の イベント1	
絶不調の イベント2	

## エピローグ 「みらいのジブン」 に向かってスタート

### 【ねらい】

エピローグでは、各テーマを振り返りながら、『みらいのジブンの設計図』で取り組んだことや考えたことなどを再確認し、自分の変化などに気づいてもらうのが大きなねらいです。すべてを振り返ることは難しいため、エピローグでは各テーマのワークなどを部分的に再体験するようにしています。以前の取り組みとエピローグでの取り組みを比較することで、変わった点や変わらなかった点が気づきやすくなるでしょう。

【学習指導要領との対応】 ※ホームルーム活動の内容で「(3) 学業と進路」に示されている項目（アミカケが高い関連）

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
学ぶことの意義の理解	主体的な学習態度の確立	教科・科目の適切な選択	進路適性の理解	望ましい勤労観・職業観の確立	主体的な進路の選択決定
働くことの意義の理解	学校図書館の利用		進路情報の活用		将来設計

【可能であれば用意したいもの】 特になし

### 【授業展開の Tips】

<p>✳️テーマ1「学校に通うということ」の振り返り（49 ページ）</p> <p>学校に行きたい理由についてあらためて考えていきます。10 ページで取り組んだことと比較させるようにしましょう。また、学校に通うことにどんな意味があるかについての考えを発表させ、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️テーマ2「働くということ」の振り返り（50 ページ）</p> <p>働くことで得られるものとしてカテゴリー分けした「安心」「自由」「夢中」「貢献」「出会い」について、再確認していきます。また、インタビューでとりあげた兼元さんが述べた「高校生のみなさんへ」の一部をとりあげ、そのメッセージへの共感度（なるほど度）をチェックします。</p>
<p>✳️テーマ3「自分はどんな人？」の振り返り（51 ページ）</p> <p>ここでのワークは秘密の窓を少しだけオープンにするというものです。発表できるような生徒がいれば、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️テーマ4「高校での学びは将来に役立つのか」の振り返り（52 ページ）</p> <p>各教科について、必要か不要かをあらためて考えさせましょう。33 ページで記入した結果と比較させるとよいでしょう。また、ここではテーマ4にはなかった将来役立つかもしれないと思う教科のトップ3を考えるワークを新しく追加しています。どの教科を1位にした人が多いかなどを調べ、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>
<p>✳️テーマ5「高校を卒業したら」の振り返り（53 ページ）</p> <p>42 ページで紹介した達人の説明を再録しています。あらためて読んでみて、自分がめざす達人を確認させましょう。6つのなかから1つを選んでも、複数を組み合わせても、新しい達人をつくり出してもかまいません。</p>
<p>✳️今の気持ちを確認しよう（54 ページ）</p> <p>最後まで取り組んだ後の気持ちを確認するページです。このワークは冒頭の ii ページとまったく同じものです。『みらいのジブンの設計図』に取り組んでどのような意識の変化があったのかを確認するために設けています。ii ページと比較して変化があった生徒にはどのような変化があったのかなどを発表させ、クラス内で共有 <b>SHARE</b> するとよいでしょう。</p>

【ワークシート】 エピローグ全体で使用可能なものを右に用意しました。コピーしてお使いください。

【評価の観点】 ※基礎的・汎用的能力との関連から

- 人間関係形成・社会形成能力 多様な考えや立場に対して自分なりの考えをもつことができ、自分の役割を考えながら今後の社会を積極的に形成していこうとする態度を養うことができたか。
- 自己理解・自己管理能力 自分自身の可能性を肯定的に理解し、今後の成長のために進んで学ぼうとする意識をもつことができたか。
- 課題対応能力 さまざまなワークに対して積極的に取り組み、自分なりの考え方をもちながら課題などをまとめることができたか。
- キャリアプランニング能力 将来を見通しながら高校卒業後の進路について主体的に判断し、自分自身のキャリアを計画していこうとすることができたか。

## エピローグ 「みらいのジブン」 に向かってスタート

### ＊テーマ1「学校に通うということ」の振り返り

49 ページであげた学校に行きたい理由のベスト3について、10 ページで書いたことと比較してみましょう。そして、変わった点や変わらなかった点を書いてみましょう。

--

### ＊テーマ3「自分はどんな人？」の振り返り

51 ページのジョハリの窓を参考に、自分の開放の窓・盲点の窓・秘密の窓・未知の窓という4つの窓の大きさを考え、左下の図に線を書き入れてみましょう（灰色の破線は4等分した場合の目安です）。区切り線を書いたら、自分の開放の窓の大きさについての感想を右側を書いてみましょう。

<table border="1"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">①開放の窓</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">②盲点の窓</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">③秘密の窓</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">④未知の窓</td> </tr> </table>	①開放の窓	②盲点の窓	③秘密の窓	④未知の窓	<table border="1"> <tr> <td style="height: 100px;"></td> </tr> </table>	
①開放の窓	②盲点の窓					
③秘密の窓	④未知の窓					

### ＊テーマ5「高校を卒業したら」の振り返り

53 ページのワークに取り組んで「めざす達人」を下記にも書き出し、その理由も書いてみましょう。

めざす達人	
理由	

### ＊今の気持ちを確認しよう

54 ページの漢字1文字を書くワークに取り組み、下記にも大きく漢字を書いてください。そのあとで、ii ページで書いた漢字と比較した感想を書いてみましょう。

漢字1文字	ii ページで書いた漢字と比較した感想

『みらいのジブンの設計図〈スタート編〉』

Tips for Teachers

非売品

編集・発行 株式会社 実務教育出版 教材編集部 ©JITSUMUKYOIKU-SHUPPAN 2016

乱丁・落丁本はお取り替えいたします  
ワークシートを除き、本書の無断転載および無断複製（コピー）を禁じます